

---

# CRASY FOR YOU

椎名ユキ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

C R A S Y F O R Y O U

### 【Zコード】

Z6271E

### 【作者名】

椎名コキ

### 【あらすじ】

高校3年生の南波渚みなみなぎさは、親のリストラがきっかけで、弟の悠貴ゆうきと芸能界にデビューすることに。ハチャメチャな条件の中、働き始めた2人だけど…。

# 1・まさかの“ヒロー”？

「では次、52番の人ー」

「はい！」

わたし、みなみなまさ南波渚は、ただいまオーディションの最中。

内容は”歌手デビュー”。でも、別に歌手になりたいわけではない。

そもそも、わたしは歌は人並みで、ただ音楽の成績が5だつたから出ただけだ。

なんとしても、まだ高校生のわたしが働いて稼がなきゃいけない理由があるので。

そう、それはつい1ヶ月前のこと……。

(あ〜、門限過ぎちゃった！やばいなあ…)

そう思いながら、わたしは玄関のドアをそっと開けた。時刻はもう日付が変わろうとしている頃。

今日は中学の同窓会で、少し遊びすぎてしまった。

「ただいまー今日は電車に乗り遅れて、ひょっと遅れちゃったけど許してーー。」

観念して、用意しておいた言い訳を言にながらリビングに入る。

……けど、何も反応がない。

「あ、お母さん？お父さん？」

確かに、わたしの目の前には2人の姿があるのだが。

相当怒らしたのかも……。

「あの……」

「なぎ」

もう一度謝りつとしたりとも、お父さんにはやられてしまった。

「…はい」

怖くなつて目をつぶると、微かに鼻をすする音。

まさか・・・と思いつつ顔を皿を開くと、せとぞ涙こぼれる  
うな顔のお父さん。

同じよひ、お母さんも。

「え、どうしたの...？」

話を聞けば、お父さんがリストラされたとのことだった。

「お母さん、お父さん。大丈夫だよー。わたしバイトする」

そう言ったとたん。

「バーカ、そんなんでなんとかなるかよ」

いつ帰ってきたのか、窓辺には弟の悠貴<sup>ゆうき</sup>が立っていた。

「悠貴ー？ちよっと何言つてんのー！」

わたしが怒鳴りつけると、悠貴はフンッと鼻で笑って腕を組みながら言った。

「バイトで4人が食つてけると思つてんの？普通に働くしかねえじ  
やん」

「でも・・・、高校中退で働けるといなんか.....」

「おぬじゅ。芸能界」

なんでそんな発想になつたのかはよくわからなideon、そのとおりに私たちは今片つ端からオーディションを受けているのだけれど、そう簡単にはいかない。

「どーだつた?」

「んー……」

もちろん、言い出した悠貴も一緒に。

「あー……、答案だと思つたんだけどなあ」

「バカはあんただよねー。あつえないつつ」

「なんだかうう……。私前、男っぽすきのかな?顔は普通なの?」

悠貴とは一つ違いで、高3と高2の姉弟。

昔から態度がでかくて、なのにモテるからムカつく弟だ。

「あんたねえ……」

言いかけて、突然話しかけてきた誰かに遮られてしまった。

「ちょっとよろしいですか？」

「……へ？」

・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6271e/>

---

CRASY FOR YOU

2010年12月9日14時37分発行